

平成 28 年度

事 業 報 告

公益財団法人 濑戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）	5
2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し 奨励する事業（公益目的事業2）	10
3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究 成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3）	13
4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に 貸与する事業（収益事業1）	18
III. 庶務の概要	19
IV. 付属明細書	22

I. 事業概要

当財団は、平成28年度事業の実施に当たり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民を始め皆様に親しまれ、満足いただける事業展開に心がけてまいりました。

一方で、国や市からの補助金を受け事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めてまいりました。

瀬戸市の文化行政と目的を共有した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与するため全力で取り組んでまいりました。

1. 公益目的事業 1

文化芸術の振興を図るため、瀬戸市の文化施設を活用してさまざまな分野の鑑賞事業や体験事業などの機会を提供するとともに、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に取り組みました。

【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

2つのホール公演事業は、「音楽の絵本」が1,300人を、「狂言を楽しむ会」が1,100人を超える皆様に鑑賞いただきました。2公演の内容も然ることながら、公演に際しての多方面にわたるPRなどが功を奏したものと分析しております。

加えて、今年度新たにバックステージ見学ツアーを始め、ピアノ演奏体験やロビーコンサートなど小規模ではありますが5つのホール関連事業を試行開催することで、文化施設の利用について理解していただくとともに、さまざまなニーズを把握することに繋がりました。

【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

このうち、特別企画展「没後100年 宮川香山」には11,917人の来館者があり、真葛焼の巧みなやきもの技術の素晴らしさなどに触れていただく機会となりました。

特別展では、1000年余の歴史と伝統を有するやきもののまち瀬戸として、やきものづくりの原点に立ち返る「第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ」のほか、陶芸団体を代表する瀬戸陶芸協会80周年記念事業として、「瀬戸陶芸の歩みと瀬戸陶芸協会の今」を開催し、現代陶芸の技と美を歴史や伝統とともに紹介し、多くの来館者に鑑賞いただきました。

新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸の今を紹介する施設として、第一線で活躍する若手作家の多彩で創造性に溢れた作品を広く紹介する企画展を開催するとともに、次世代に繋がる新たな陶芸、ガラス工芸文化の創造に努めました。

また、陶芸作品やガラス工芸作品に気軽に触れることのできるギャラリー展示にも心がけました。

瀬戸染付工芸館では、吳須と呼ばれる顔料による青一色の濃淡で表現する瀬戸染付の繊細で鮮やかな作品をご覧いただく機会が提供できました。伝統的な瀬戸染付の魅力をより多くの皆様にお伝えするため、さらなる工夫やP R活動の強化が求められます。

【体験活動の機会を提供する事業】

やきもの文化、技術を伝えるため、専門的知識や技能をもとに新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸に、初心者でも気軽に参加でき満足いただけるような工房体験に努め、親しんでいただける機会としました。

また、瀬戸染付工芸館の染付体験では、さまざまなニーズに応じた、初心者から上級者まで気軽に体験でき、満足いただけるメニューの提供に努め、染付技術の理解と普及に繋げました。

文化体験講座では、文化団体の協力のもと次世代を担う子どもたちの新しい体験と楽しい思い出づくりの一助としました。

【国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業】

これまでに世界24か国60人の作家を招聘して行ってきた国際アート（レジデンス）事業は、今年度国の補助採択基準の変更に伴い、基準を満たすまでに至らず、開催することができませんでした。長年にわたり継続して実施してきた事業で、評価も高く次年度以降の実施に向け検討課題としました。

なお、3年に1度愛知県で開催される国際芸術祭（あいちトリエンナーレ）では、インドの陶芸家が瀬戸に滞在して、新世紀工芸館で制作活動し、交流を深めることができました。

また、これまでに招聘した作家が滞在中に制作した作品の展覧会を新世紀工芸館において開催しました。

【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ機会として安定的に提供し、主体的、創造的な活動に繋げることができました。前年度と比較して利用件数では2%（75件）の減少となりましたが、利用者数では6.5%（14,397人）の増加となりました。

公益財団法人となった平成24年度から平成28年度までの5年間の使用率（使用日数÷使用可能日数）から分析しますと、文化ホールでは、年間60%程度の使用率で、この傾向に大きな変化はありません。また、文化交流館の各会議室の利用では、比較的小規模な会議室の使用率は高く、特に1階の各会議室では80%を超え、90%近い使用率となっている会議室もある一方で、2階及び3階の比較的大きな会議室では、平均68%程度に留まっています。このほか、特殊事情はありますが和室が40%程度、茶室が30%程度と使用率が低迷しておりますが、1階ギャラリーは、文化芸術活動に取り組まれている皆さんのが発表の場として、平均約70%と高い使用率となっております。

今後とも、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進を図ってまいります。

2. 公益目的事業2

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作、発表といったコンクールなどを実施することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励することにより、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

【人材育成の機会を提供する事業】

陶芸やガラス工芸の創作活動の場である新世紀工芸館、瀬戸染付の保存、伝承の場である瀬戸染付工芸館の両施設では、次世代を担う作家の輩出を目指し、これまで多くの若者を研修生として受け入れてきました。研修生が自らの課題を掲げ、外部講師などによる指導、助言などを受けながら主体的に制作活動に励めるようサポートしました。

しかしながら、近年、社会情勢の変化などにより研修生も減少傾向にあることが顕著なため、これまでに増して両施設のPR強化とともに、魅力ある研修機関として、研修生の受け入れに向けた積極的な取り組みが求められます。

【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

歴史を重ねてきた第69回美術展や第65回文芸発表会には、部門により差異はあるものの、今年度も多くの方々からご応募いただき、関心の高さが伺えます。今年度における問題点を整理し、さらなる支援に繋がるよう取り組み、次年度以降、より多くの皆さんからご応募いただけるようPR活動などに取り組んでまいります。

文化芸術活動の発表機会を提供する事業では、創立30周年を迎えた瀬戸市文化協会の多大なるご協力のもと、文化の祭典では、加盟する66の文化芸術団体が、日頃の研鑽の成果を発表する機会として文化ホールを提供し、今後の活動に繋げていただけましたことになりました。

また、32団体及び個人による芸術展では、多彩な作品で会場が華やぎ、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会が提供できました。

さらに、いけばな展では、各流派による花の共演が来館者の目を引き、趣のある陶祖公園などの茶室を会場に行われた茶会では、多くの方が茶の心にふれていただくことができました。

3. 公益目的事業3

瀬戸は平安後期から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史であるといえます。

本市の最大の特徴である窯業の歴史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報並びに学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の使命から、文化芸術活動の振興とともに文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査、研究、保存、活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示、公開など情報提供に取り組んでまいりました。

発掘、試掘、確認調査では、市内遺跡である品野西遺跡を始め6か所を調査し、貴重な資料が得られるとともに、今後出土品の整理を進め、成果報告書の作成とともに、保存、活用に繋げてまいります。

【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供することにより、窯業史研究の発展に資するとともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識教養を深めるため、瀬戸焼データベースの構築、研究紀要の発刊のほか、瀬戸市歴史文化基本構想策定資料として、市内に残る警固祭りの標具（山車）を中心とした民具の記録保存のため基礎資料の取得作業を行いました。

また、瀬戸市歴史文化基本構想策定過程において、文化財に関する資料、データの提供を行うなど、さまざまな段階において協力してまいりました。

【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、講演会や企画展示などの充実を通じて、郷土の歴史に関心を持ち、次世代に伝える文化財思想の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

4. 収益事業 1

瀬戸市より管理運営を受託している文化センターの各施設を、公益目的とした事業以外に貸与しました。

空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として貸出しましたが、それらの割合は全体の概ね30%となっています。

貸与実績の主な内容を見ますと、市役所等官公庁及び関係機関が、総会、大会、打合せ会議、全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業並びに団体による健康診断業務、各種相談業務、セミナー、研修会、勉強会、会議など幅広く利用していただいております。

中心市街地からも近く駐車場も完備しており、施設利用には適していることから、利用の申し出は増える傾向にあります。

今後とも、効率的な施設の維持管理に努め、一層の利用促進を図ってまいります。

II. 事業説明及び事業実績

1. 文化芸術に触れる機会と場を提供する事業（公益目的事業1）

（1）舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催公演事業）

内容：文化センター文化ホールを会場とし、各ジャンルや幅広い年齢層に対応した鑑賞型ホール事業を開催しました。

事業名	委託先	開催日	入場料	入場者数
音楽の絵本	㈱スーパー・キッズ	11/23 (水・祝)	一般 3,000 円 大学生以下 1,500 円	1,342 人
野村万作 野村萬斎 「狂言を楽しむ会」	㈱万作の会	12/21 (水)	S 席 4,000 円 A 席 3,000 円	1,150 人

（文化ホール関連事業）

事業名	開催日	参加者数
バックステージ見学ツアー	7/30(土)	52 人
スタンウェイ・ヤマハ コンサートピアノ演奏体験	8/28(日) 8/29(月)	81 人
気軽に楽しむ音楽 陶壁ロビーコンサート	10/10 (月・祝)	178 人
ピアノのしくみ	12/3(土)	42 人
フランス・リモージュで繋がる ウインター陶壁ロビーコンサート（市共催）	29.2/26 (日)	180 人

（2）美術鑑賞の機会を提供する事業（企画展開催）

① 美術作品の展示を行う事業（美術館企画展）

内容：美術館企画展事業として、特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

展覧会

（ ）内は前年度

事 業 名	開催期間	入館料	入館者数
特別展 せとものフェスタ 2016 瀬戸市美術館特別展 第2回瀬戸・藤四郎トリエンナーレ —瀬戸の原土を活かして—	4/16(土)～ 5/29(日)	大人 500 円 高大生 300 円	1,820 人
特別展 瀬戸陶芸協会 80周年記念 瀬戸陶芸の歩みと瀬戸陶芸協会の今	6/4(土)～ 7/31(日)	大人 500 円 高大生 300 円	1,630 人

特別展 愛知県立芸術大学創立 50 周年記念 陶芸&セラミックデザイン 2016 —愛知県立芸術大学陶磁器専攻 卒業生・修了生選抜展—	8/6(土)～ 9/25(日)	大人 300 円 高大生 200 円	1,230 人
特別企画展 瀬戸市制 87 周年記念 没後 100 年 宮川香山	10/1(土)～ 11/27(日)	大人 700 円 高大生 300 円	11,917 人
企画展 栗本雅子人形展	12/3(土)～ 29.1/29(日)	大人 300 円 高大生 200 円	1,092 人
企画展 瀬戸市美術館収蔵名品展	[(29.2/4(土) ～4/9(日)] 29.2/4(土)～ 3/31(金)	大人 100 円 高大生 100 円	(710 人) 571 人
瀬戸市美術館 年間開館日数	310 日 (302 日)	年間入館者数	18,314 人 (11,987 人)

(関連事業等)

演題	講師	開催日	開催場所	参加者数
講演会 「瀬戸における個人作家と陶芸制作の歩み」	唐澤 昌宏氏 (東京国立近代美術館工芸課長)	6/4 (土)	文化センター 文化交流館	30 人
陶芸作家工房めぐり	加藤 令吉氏 (陶芸協会会长) 長江 重和氏 (陶芸協会常任理事)	7/2 (土)	作家工房	45 人
講演会 「明治の輸出陶磁と宮川香山」	服部 文孝氏 (瀬戸市美術館館長)	10/1 (土)	文化センター 文化交流館	50 人
講演会 「眞葛香山 一没後 100 年に際して—」	田邊 哲人氏 (眞葛香山研究家)	10/10 (月・祝)	文化センター 文化交流館	178 人

② 陶芸・ガラス工芸作品に特化して展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）

内容： 展示棟では、陶芸及びガラス工芸分野等における作家を中心に、交流棟では季節ごとにテーマを設けた企画展を開催しました。

展示棟企画展

() 内は前年度

事業名	開催期間	入館者数
岸本耕平 松藤孝一 展	(28.3/26～6/19) 4/1～6/19	(2,981 人) 2,881 人

NATURE INTO ART 道川省三 濑口吉則 展	6/25～9/18	1,663 人
アーティスト・イン・レジデンス作家展	10/8～11/27	2,831 人
第5回そば猪口アート公募展	12/3～29.1/22	725 人
工芸館展示棟 年間開館日数 (270 日)	271 日 (270 日)	年間入館者数 (6,549 人)

交流棟企画展

() 内は前年度

事 業 名	開催期間	入館者数
部屋を飾る陶とガラス展 同時開催 五月人形展	4/1～5/8	1,304 人
ガラスと白のうつわ展	5/28～7/24	1,157 人
和のごはんと洋のごはんのうつわ展	7/30～9/25	2,304 人
seto しごと展 vol.4	10/1～11/20	1,156 人
陶とガラスの冬のおくりもの展	11/26～29.1/15	936 人
陶とガラスの雛人形とスイーツのうつわ展	29.1/21～3/12	2,118 人
工芸館交流棟 年間開館日数 (255 日)	258 日 (255 日)	年間入館者数 (8,039 人)

③ 歴史的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）

内容： 伝統的なやきものである「瀬戸染付」の歴史的名品を展示する企画展を開催しました。

() 内は前年度

事 業 名	開催期間	入館者数
文様をまとう 瀬戸染付に咲く花々	4/1～6/27	1,328 人
君は未来のやきもの博士 瀬戸染付って何？	6/29～9/26	1,471 人
海を渡った瀬戸染付 —里帰り品を中心に—	9/28～12/26	3,300 人
瀬戸染付の組皿	29.1/5～3/27	1,339 人
染付工芸館 年間開館日数 (305 日)	306 日 (305 日)	年間入館者数 (7,258 人)

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

内容： やきものの文化や技術を伝えるため、各種体験教室等を開催しました。

また、次代を担う子どもたちを対象として文化芸術を体験する機会を提供するため、文化団体が実施する体験講座を支援しました。

(ア) 新世紀工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
「陶芸体験」 ロクロ体験、手びねり体験、絵付け体験	毎月第1、第3日曜日の 午前・午後	193人 (218人)
「ガラス体験」 吹きガラス体験、サンドブラスト体験	5月、6月、7月、10月、 11月、12月、2月、3月 の年8回	80人 (63人)

(イ) 濑戸染付工芸館体験事業

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
「瀬戸染付体験教室」	4月～3月(月1回)	273人 (265人)
「常設染付体験」	通年	作品 563個 (360個)

(ウ) 文化体験講座

() 内は前年度

事業名	開催期間	参加者数
夏休み期間中、子供向けに日本舞踊、 マジック、書道、囲碁、箏、押し花、 日本画、津軽三味線、太鼓、水彩画、 茶道など18講座	7/21(火)～8/31(月)	321人 (282人)

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック＆ガラスアート交流プログラム）

内容：国際的に活躍する陶芸家・ガラス工芸作家を瀬戸に招聘し、滞在制作を行うアーティスト・イン・レジデンスを実施するほか、招聘作家の作品の世界や創作活動の紹介を通して作家の理解を深め、作家の指導のもと、粘土・ガラスを素材とした造形を体験する機会を提供し、招聘作家が滞在制作した作品の展覧会を開催するもの。

今年度は、国の補助採択基準の変更に伴い、基準を満たすまでに至らず、開催することができませんでした。長年に渡り継続して実施してきた事業で、評価も高く次年度以降の実施に向け検討課題としました。

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

内容：瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を市民の文化活動の場として提供しました。

①市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）
(文化ホール)

会 場	平成28年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
ホール	209	87,875	195	85,227	107.2	103.1
リハーサル室(1)	265	9,206	279	10,397	95.0	88.5
リハーサル室(2)	131	1,646	136	1,629	96.3	101.0
リハーサル室(3)	91	991	55	562	165.5	176.3
小計	696	99,718	665	97,815	31 件	1,903 人

(文化交流館)

会 場	平成28年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件)	人数(人)	件数(件)	人数(人)	件数	人数
11会議室	410	14,883	447	13,694	91.7	108.7
12会議室	305	15,002	352	13,809	86.6	108.6
13会議室	484	14,901	492	12,885	98.4	115.6
21会議室	193	8,640	206	7,784	93.7	111.0
22会議室	281	21,291	282	18,936	99.6	112.4
31会議室	261	27,590	235	22,561	111.1	122.3
32会議室	366	5,703	403	6,350	90.8	89.8
ギャラリー	246	20,986	248	21,682	99.2	96.8
和 室	130	5,830	123	4,790	105.7	121.7
茶 室	98	2,343	92	2,184	106.5	107.3
小計	2,774	137,169	2,880	124,675	-106 件	12,494 人
総合計	3,470	236,887	3,545	222,490	-75 件	14,397 人

②工芸文化に触れる場の提供（新世紀工芸館運営事業）

事 業 名	開催期間	開催場所	入場者数
「五歳時記展」vol.2(瀬戸クラフト協会)	5/13~5/25	交流棟 2 階	168 人
瀬戸原型陶彫会作品展	29.3/17~3/22	交流棟 2 階	123 人

2. 人材育成と市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業(公益目的事業2)

(1) 人材育成の機会を提供する事業(人材育成事業)

内容： 新世紀工芸館は陶芸・ガラス工芸の創作活動の場として、また、瀬戸染付工芸館では瀬戸染付の技術の保存・伝承を図るため、技術・技能を習得するための研修事業を行いました。

(ア) 工芸分野における人材育成を行う事業

コース	13期生	14期生	研修生計
陶芸コース	1人	1人	2人
ガラス工芸コース	1人	2人	3人

第14期陶芸コース：当初3名中2名が途中退館となった。

() 内は前年度

事業名	開催期間	開催場所	入館者数
瀬戸市新世紀工芸館 第13期研修生修了作品展 第14期研修生作品展	29.1/28～3/19	新世紀工芸館 展示棟	1,251人 (1,295人)

(イ) 瀬戸染付技術における人材育成を行う事業

26年度入館生	27年度入館生	研修生計
2人	1人	3人

平成28年度入館生なし(研修期間は最大4年間)

() 内は前年度

事業名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸染付工芸館研修生作品展	29.3/9～3/12	文化センター 文化交流館 ギャラリー	165人 (210人)

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール(美術展・文芸発表会)

(ア) 美術作品のコンクールを行う事業(第69回瀬戸市美術展)

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の7部門で作品を広く公募し、優れた作品は表彰するとともに、入賞作品は展示を行いました。

部門	応募点数(内入選数)		美術展開催期間・場所
	平成28年度	平成27年度	
日本画	25(20)	34(22)	
洋画	136(96)	130(87)	

彫 刻	11(11)	9 (7)	10/19(水)～23(日) 入場者数 2,861 人 (前年度 2,556 人) 文化センター文化交流館
陶 芸	33 (31)	44(32)	
書 道	38(38)	45(44)	
写 真	142(117)	142(115)	
工芸美術	30(30)	40(39)	
合 計	415(343)	444(346)	

(イ) 文芸作品のコンクールを行う事業（第 65 回瀬戸市文芸発表会）
 内容： 俳句・川柳・短歌・詩の部門で作品を公募し、優れた文芸作品は表彰するとともに、文芸誌「窓火」を発刊し作品を紹介しました。また、講師を招き記念講演会を開催しました。

() 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	《一般の部》 応募句数 469 句 (521 句) 特選 12 句、入選 72 句 《小中学生の部》 応募句数 585 句 (639 句) 特選 4 句、入選 88 句	応募句数 142 句 (144 句)	11/3(木・祝) 表彰式 記念講演会 歌人 「大塚寅彦氏」
短 歌	《一般の部》 応募歌数 274 首 (302 首) 特選 6 首、入選 46 首 《小中学生の部》 応募歌数 65 首 (178 首) 特選 2 首、入選 14 首	応募歌数 87 首 (115 首)	参加者数 約 80 人 文化センター 文化交流館
川 柳	《一般の部》 応募句数 348 句 (412 句) 特選 6 句、入選 42 句 《小中学生の部》 応募句数 162 句 (51 句) 特選 2 句、入選 18 句	応募句数 141 句 (133 句)	
詩	《一般の部》 応募詩数 24 編 (38 編) 特選 2 編、入選 6 編 《小中学生の部》 応募詩数 7 編 (5 編) 特選 1 編、入選 3 編	応募詩数 7 編 (3 編)	

② 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

内容： 市民の文化芸術活動を促進するため、邦楽、詩吟と民謡、洋楽Ⅰ、洋楽Ⅱの4部門で「文化の祭典」を実施しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
文化の祭典 「詩吟と民謡」	5/22(日)	約 580 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「邦楽」	5/29(日)	約 540 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅱ」	6/12(日)	約 800 人	文化センター 文化ホール
文化の祭典 「洋楽 Ⅰ」	6/26(日)	約 500 人	文化センター 文化ホール

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

内容： 短歌、川柳、俳句の題材を求めて、活動に勤しむ仲間同士が近郊の景勝地を訪問する吟行会を開催しました。後日、成果は作品集としてまとめ配布することにより、今後の活動の一助としました。

開催日	参加人数	部 門	開催場所
5/26(木)	70 人	短歌、川柳、 俳句	五個荘 (滋賀県東近江市)

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業

内容： 日本画・洋画・彫刻・陶芸・書道・写真・工芸美術の部門において、市内で活躍する作家と市内文化団体のコラボレーションによる芸術展等を開催しました。また、市内文化団体による「書道展」「いけばな展」「市民茶会」をそれぞれ開催しました。

部 門	開催日	参加人数	開催場所
陶祖茶会	4/16(土) ～17(日)	約 200 人	陶祖公園 「茶室竹露庵」
書道展	5/13(金) ～15(日)	約 400 人	文化センター 文化交流館
市民茶会	5/15(日)	約 440 人	文化センター 文化交流館
文化協会芸術展 (ふれあいコンサート)	10/26(金) ～30(日)	約 1,000 人	文化センター 文化交流館
ふれあい茶会	10/26(金) ～30(日)	約 380 人	文化センター 文化交流館
新春いけばな展	29.1/28(土) ～29(日)	約 500 人	文化センター 文化交流館

新春茶会	29.1/28(土) ～29(日)	約 680 人	文化センター 文化交流館
------	----------------------	---------	-----------------

(エ) 共催・後援等による市民文化活動の支援

内容： 市民団体等が行う文化芸術活動の共催又は後援を行うことにより、市民の文化芸術活動を支援しました。

事業名	開催日	開催場所	主催者
2017 濑戸いけばな芸術展	H29 4/8(土) 9(日)	文化センター 文化交流館	瀬戸いけばな協会

3. 文化財の調査・研究、資料の収集・整理・保管を行い、調査・研究成果の情報と学習活動の機会を提供する事業（公益目的事業3）

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

内容： 埋蔵文化財を適切に保護し活用するために、発掘調査や重要遺跡の保存のための試掘調査を行い、その考古学的な調査結果・研究成果を報告書にまとめて公開するとともに、出土遺物を適切に整理・保管し博物館展示等に活用できるようにしました。

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	品野西遺跡(発掘調査)	神川町遺跡(確認・発掘調査)
所在地	瀬戸市品野町	瀬戸市神川町
調査面積	240 m ²	110 m ²
遺跡の性格	集落	集落
遺跡の時期	室町時代・江戸時代	古墳時代・近世
主な遺構	火葬墓・土坑・溝	竪穴住居・土坑・溝
主な遺物	山茶碗・施釉陶器・窯道具	土師器・陶磁器

	市内遺跡発掘調査	市内遺跡発掘調査
遺跡名	若宮遺跡3-83地点 (発掘調査)	塚原遺跡・塚原4号窯跡 (確認調査)
所在地	瀬戸市若宮町	瀬戸市若宮町
調査面積	410 m ²	152.14 m ²
遺跡の性格	集落	古墳・窯跡
遺跡の時期	古墳時代	古墳時代・中世
主な遺構	土器溜り	溝
主な遺物	須恵器・土師器	須恵器・山茶碗

	大平窯跡他確認調査	城山公園埋蔵文化財確認調査
遺跡名	大平縄文遺跡・大平窯跡	新居城跡
所在地	瀬戸市海上町	尾張旭市城山町
調査面積	50 m ²	140 m ²
遺跡の性格	散布地・窯跡	城館
遺跡の時期	縄文時代・室町時代	戦国時代
主な遺構	灰原(大平窯跡)	土壘・堀
主な遺物	施釉陶器(大平窯跡)	須恵器・陶器・土師器

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
陶祖公園内窯跡(確認調査)	瀬戸市藤四郎町	平成25年度
夕日5号窯跡	瀬戸市藤四郎町	平成25年度
夕日4号窯跡	瀬戸市藤四郎町	平成26年度
若宮遺跡 (山口町304・305地点)	瀬戸市山口町	平成27年度
本地大塚古墳他	瀬戸市西本地町	平成27年度

中水野遺跡	瀬戸市中水野町	平成 27 年度
大平窯跡	瀬戸市海上町	平成 28 年度
新居城跡	尾張旭市城山町	平成 28 年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）

報告書名	体裁	発行数
第62集 陶祖公園内窯跡発掘調査報告書	A4版 250 頁	400 冊
第63集 中水野遺跡発掘調査報告書	A4版 32 頁	400 冊
第64集 大平窯跡・大平縄文遺跡	A4版 64 頁	400 冊

(エ) 発掘調査中に遺構等が検出された遺跡を公開し、説明会を実施する事業（現地説明会）

発掘調査場所	開催日	参加者数
新居城跡	6月4日(土)・5日(日)	約 160 人
	6月8日(水)	尾張旭市立 城山小学校 児童 125 人

(2) 窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業

(ア) 瀬戸焼データベースの作成・情報提供を行う事業

内容： 全国の自治体、財団等が発刊した受領図書から瀬戸焼に関する情報を抽出し、全国から出土した瀬戸焼を種類や時代ごとに抽出可能なデータベースの構築、成果を公表するもので、平成28年度は再構築作業を行いました。

- ・新規図書登録 1,171件

(イ) 瀬戸焼を中心とした文化財に関する情報提供を行う事業

内容： 「埋蔵文化財センター研究紀要 第20輯」を刊行しました。

(ウ) 民俗文化財（警固祭り標具等）調査事業

内容： 歴史文化基本構想策定資料として、瀬戸市内に残る民俗文化財の調査を行い、特に祭りに使用される標具（ダシ）を中心とした民具の記録保存を行うための基礎資料取得作業を行いました。

(3) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演題	講師	
織田・豊臣系城郭を考える 一城郭構造と窯の分布を中心に—	中井 均氏 (滋賀県立大学教授)	
開催日	開催場所	入場者数
平成28年12月11日（日）	文化センター 文化交流館31会議室	約70人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
織豊期の瀬戸窯と 美濃窯	11/19～ 29.1/29	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人500円 高大生・65歳以上300円	6,531人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

内容： 瀬戸の伝統産業であるやきものづくりを核に、瀬戸の特徴的な建物のジオラマ復元や窯業関連道具の展示及び、瀬戸焼の歩みなどを紹介する常設展示の一部入れ替えを行いました。

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

事業名	開催期間	開催場所	入館料	入館者数
むかしの道具展	(28.1/30 ～4/10) 4/1～ 4/10	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー		(13,264人) 421人
明治に生まれた美麗なるやきもの —石目焼—	(28.2/13 ～5/8) 4/1～ 5/8	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室	大人500円 高大生・65歳以上300円	(13,216人) 3,124人
愛知県陶磁器技能士会展	4/16～ 7/3	瀬戸蔵ミュージアム 中央通りギャラリー		5,448人
瀬戸染付×廁 —明治に華ひらいた花鳥曼荼羅の絵画—	5/14～ 7/10	瀬戸蔵ミュージアム 蔵特別展示室		3,265人

土の詩 —愛陶工陶芸部 会展—	7/9～ 9/25	瀬戸蔵ミュー ジアム 中央通りギャ ラリー		6,622 人
新出土品展 中世赤津の窯跡 —門前 B 窯跡と音玄 窯跡を中心に —	7/16～ 9/11	瀬戸蔵ミュー ジアム 蔵特別展示室		4,710 人
セトノベルティ の魅力 —ノベルティあらか ると—	9/17～ 11/13	瀬戸蔵ミュー ジアム 蔵特別展示室		7,019 人
秋の窯めぐり展 —赤津・品野・水野 の窯屋—	10/1～ 11/13	瀬戸蔵ミュー ジアム 中央通りギャ ラリー		5,634 人
やきものの暖房 器具	11/19～ 29.2.12	瀬戸蔵ミュー ジアム 中央通りギャ ラリー		9,050 人
陶磁器图案家 馬淵利貞 —昭和初期の産業デ ザイン—	(29.2/4～ 5/7) 29.2/4～ 3/31	瀬戸蔵ミュー ジアム 蔵特別展示室	(14,929 人) 11,648 人	
SAMS 陶展	(29.2/18 ～4/9) 29.2/18 ～3/31	瀬戸蔵ミュー ジアム 中央通りギャ ラリー	(10,007 人) 9,190 人	

(才) 文化財、史跡の見学会等を行う事業 (文化財見学会)

事業名	開催日	内 容	参加者
展示説明会	12/11(日) 29.1/7(土)	瀬戸焼の歴史と企画展示解説	合計 55 人

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業 (講師等の派遣)

依 頼 者	派遣日	内 容	対 象
西陵小学校	4/27(水)	瀬戸市の出土品に関する体験学 習等	6 年生 96 人
幡山東小学校	4/28 (木)・ 5/9(月)	瀬戸市の出土品に関する学習、土 器観察及び塚原古墳群の見学	6 年生 75 人
陶原小学校	5/6(金)・18 (水)	6年生社会科の歴史学習・総合的 な学習の地域学習「瀬戸の歴史を 知ろう」	6 年生 107 人

幡山西小学校	5/10(火)・ 11(水)・13 (金)	瀬戸市の出土品についての説明・体験学習、埋蔵文化財センターの仕事についての説明等	6年生 97人
品野台小学校	5/25(水)	上品野蟹川遺跡出土品に関する体験学習等	6年生 18人
道泉小学校	6/3(金)	古墳に関する学習等	6年生 28人
深川小学校	6/3(金)	古墳に関する学習等	6年生 14人
東海土器研究会	10/22(土)	瀬戸市内の灰釉陶器窯	一般 約60人

4. 管理運営を受託した施設を公益目的とした事業以外に貸与する事業

(収益事業1)

当財団が管理運営している文化センターを利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

公益目的使用以外の割合 30%

III 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 平成28年 5月25日	(1) 平成27年度事業報告に関する件 (2) 平成27年度決算報告に関する件 (3) 第5回定期評議員会招集に関する件 (4) 職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 了承	文化センター 文化交流館 21会議室
第2回 平成28年 6月9日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団理事長の選定に関する件 (2) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団副理事長の選定に関する件 (3) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団常務理事の選定に関する件	役員名簿のとおり選定 〃 〃	書面審議
第3回 平成28年 9月21日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程に関する件	原案通り 可決	書面審議
第4回 平成28年 11月21日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団嘱託職員就業規程の一部を改正する規程に関する件	原案通り 可決	書面審議
第5回 平成29年 2月24日	(1) 公益財団法人瀬戸市文化振興財団臨時職員就業規程の一部を改正する規程の件 (2) 平成29年度事業計画書に関する件 (3) 平成29年度收支予算書に関する件 (4) 平成29年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (5) 臨時評議員会招集に関する件 (6) 職務執行状況報告	原案通り 可決 〃 〃 〃 〃 了承	文化センター 文化交流館 21会議室

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第5回定期 平成28年 6月9日	(1)平成27年度事業報告に関する件 (2)平成27年度決算報告に関する件 (3)評議員の選任に関する件 (4)理事の選任に関する件 (5)監事の選任に関する件	原案通り 可決 〃 役員名簿のとおり選任 〃 〃	文化センター 文化交流館 21会議室
第1回臨時 平成29年 3月27日	(1)平成29年度事業計画書の承認に関する件 (2)平成29年度収支予算書の承認に関する件 (3)平成29年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認に関する件 (4)評議員の選任に関する件 (5)監事の選任に関する件	原案通り 可決 〃 横山彰を選任 長谷川利忠を選任	文化センター 文化交流館 21会議室

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
平成28年 5月18日	平成27年度事業報告及び決算	適法適正処理	文化センター 文化交流館 21会議室

(4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	伊藤 保徳	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	丹羽 博	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	深見 和博	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

理 事	水野 和郎	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 光也	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 令吉	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 唐三郎	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	加藤 和守	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理 事	成田 一成	平成28年6月9日から平成29年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	小澤 修	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監 事	長谷川 利忠	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏 名	任 期
評議員	青山 一郎	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	小沢 英之	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	宮本 雅美	平成28年6月9日から平成31度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	横山 彰	平成28年6月9日から平成31年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(6) 職員数

区分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	計
事務局長	1人(嘱)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
課長補佐・副所長	1人(派)	1人	2人
主任		3人	3人
主事	1人(派)		1人
嘱託	3人		3人
臨時(常勤)	1人	1人	2人
計	8人	6人	14人

(派) は瀬戸市からの派遣職員

区分	管理事務所			
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	計
管理事務所長	1人(派)	1人(嘱)	1人(嘱・兼)	3人
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時(常勤)		3人		3人
計	7人	7人	3人	17人

(派) は瀬戸市からの派遣職員

IV 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。